

令和6年6月熊本県議会定例会

農林水産常任委員会報告資料

② 佐賀県の野生いのししにおける
豚熱確認と本県の対応について

農 林 水 産 部

佐賀県の野生いのししにおける豚熱確認と本県の対応について

<豚熱確認の状況及び本県の対応>

1 佐賀県唐津市での豚熱感染野生いのしし確認

○九州内で捕獲された野生いのししでは初の事例

・捕獲場所・頭数：佐賀県唐津市・2頭

・捕獲日：5月30日及び6月3日

・確認日：6月6日

その後も唐津市で3例目及び4例目も確認(6月7日)

○野生いのしし陽性確認県：36都府県(飼養豚発生県：21都県)

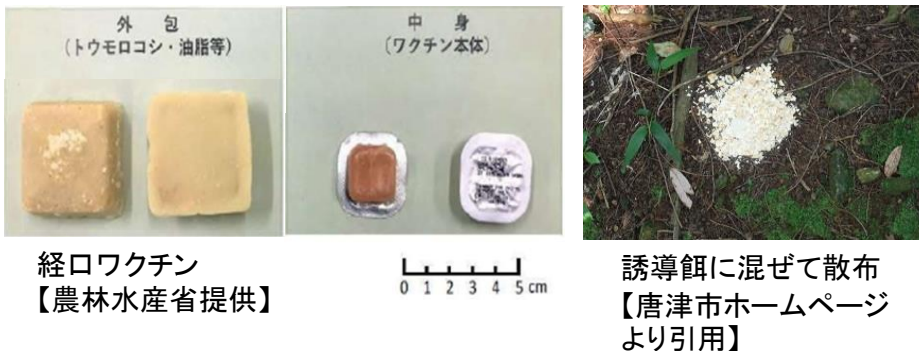
○経口ワクチン散布

・国は佐賀県を経口ワクチン推奨地域に指定(6月7日)

⇒緊急的に6月13日から14日にかけて確認地点から半径10km圏内に散布

野生いのししサーベイランス
検査による陽性確認

※サーベイランス：まん延を確認する
浸潤状況確認検査



経口ワクチン
【農林水産省提供】

0 1 2 3 4 5 cm

誘導餌に混ぜて散布
【唐津市ホームページ
より引用】

○農林水産省から、野生いのしし対策及び養豚農場の対策を九州各県へ通知

2 本県における対応

(1) 緊急対策会議の開催

○緊急防疫対策会議を開催(6月6日) オンライン併用

・出席者：畜産関係団体、獣医師会、県警、県庁内関係各課、各広域本部・各地域振興局、各家畜保健衛生所等

○各家畜保健衛生所単位で地域緊急防疫対策会議を開催(6月7日)

・出席者：市町村、地域農業団体、地域猟友会等

(2) 養豚農場への対応

○県内全農場への情報提供と飼養豚の健康状態を確認(6月6日 全農場異状なし)

○豚熱ワクチンの適時適切な接種、飼養衛生管理の遵守等を指導

(3) 野生いのししへの対応

○サーベイランス検査及び捕獲の強化

・サーベイランス検査の強化(月60頭以上を目標)

・狩猟者及び捕獲従事者へ捕獲強化の3課長通知(自然保護課、むらづくり課、畜産課)

○経口ワクチン散布に向けた体制整備

・熊本県野生いのしし豚熱経口ワクチン対策協議会設立
(R5年10月31日設立)

・国が本県を散布地域に指定した場合に備え、散布計画案を策定

○狩猟者や入山者等へ関係機関から注意喚起